



「きらめく人と自然 あったか小野町」

小野町長 宍戸 良三

新年明けましておめでとうございます。

平成21年の年頭にあたり、謹んで新春を賀し新年のお慶びを申し上げます。町民の皆様には幸多き一年となるよう心からご祈念申し上げます。

毎年、お正月に新しい気持ちで一年間の計画を立てる方も大勢いらっしゃると思います。心機一転晴れやかな気持ちで取り組みますし、そのような気持ちになれるのが日本のお正月だと思います。また大切なことだと思います。

もともとお正月は、お供えをして歳神(としがみ)様を祭る儀式だったり、この一年の豊作と家族の健康を祈る儀式だったり、さらにお正月を迎えることそのものが一つの区切りでありました。昔の人はお正月を迎えると、無事に新しい年を迎えたことを心から喜び、「数え年」としてお正月にひとつ年齢を重ね、家内中でお祝いしました。

少子高齢化の問題がよく取り上げられますが、本来元気な高齢者が増えることは喜ばしいことであります。老いも若きも、健康で笑顔で、未来志向で元気に素晴らしい社会を築いていければと思います。

私も町長就任以来、4度目の新年を迎えましたが、この間、山積する課題に全身全霊で取り組んできました。主要プロジェクトである右支夏井川の河川改修では、平成20年度は大幅な事業費を確保でき、町道松葉線の橋梁下部工の施工、さらに小治郎橋の詳細設計、JR鉄道橋の設計など本格着工に入ることができました。

こまちダムにつきましては平成19年3月に竣工し、同年にこまち浄水場を稼動したところで、磐越自動車道の4車線化につきましても昨年末に完成し供用を開始しました。

子育て支援では、保育時間の延長、土曜日の

一日保育、保育料の軽減や一時保育などを実施し、また医療費についても入院時の医療費支払いを小学校六年生まで公費負担をする制度に改正しております。

町内への移住促進策として、移住者への支援と同時に町内製材業、建設業の活性化を目指して町有林をプレゼントする「町有林おすそ分け事業」、また町に永住するために転入した方に町内の商店街で利用可能な商品券をプレゼントする「小野町定住祝い金交付事業」などを開始し、昨年はそれぞれ該当する方がおられました。

安全安心事業の「小野中学校全面改築事業」も昨年は用地拡張部分の取得契約が完了し、公募による設計会社も決定しました。建て替えと同時に念願でありました給食センターもつくる予定です。

課題はまだまだ山積しておりますが、直面する課題に一つ一つ取り組み、計画的に着実に進展を図ってまいります。

小野町を取り巻く環境の急激な変化に対応すべく、第四次振興計画を現在一年早めて策定中であります。実施期間を21年度からの10年間とした、基本構想・基本計画・実施計画の三段階からなるものであります。

基本構想のキャッチフレーズを「きらめく人と自然 あったか小野町」と定め、小野町の大きな財産である笑顔と活気にあふれる人々や豊かな自然環境が自ら光り輝き、人々がともに助け合い、優しさあふれる温かい誇れる町となることを目指しました。誰もが「住みたい町」「住んで良かった町」という町づくりを進めたいと考えております。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。